

平成16年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号)	提案機関名	横須賀三浦地区農政事務所
74		
※記入不要		
要望問題 海浜に耕土を流さない植生（ゲットウ：月桃）の検討について		
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】		
<p>1 背景： 県営ほ場整備事業 三戸小網代地区の付帯工事である三浦市三戸土地改良区施工の農地基盤造成工事に伴い、耕土流出防止に関する植生の検討のため。</p> <p>2 内容： 沖縄県では、赤土流出対策として、ゲットウを試験的に研究しています。当地については、ゲットウを始めとして当地に合った植生を用いて、耕土流出を防止したい。</p> <p>3 対象地域： 三浦市初声町三戸及び三崎町小網代地内（ほ場整備区域内）</p> <p>4 規模（面積、数量等）： 受益面積：38ha（県営ほ場整備事業 三戸小網代地区） → 上部施工（表土のみ） 緑農区面積：48ha（土地改良区施工面積） → 下部施工（表土+盛土）</p>		
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内	
研究対応区分	①研究所対応 ②委託研究 ③共同研究 ④その他	
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（②根府川試験場 <input checked="" type="checkbox"/> ③三浦試験場 ④津久井試験場） ⑤畜産研究所 ⑥水産総合研究所（⑦内水面試験場 ⑧相模湾試験場） ⑨自然環境保全センター	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部 署	生産技術部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可
試験研究課題名 （①、②、④の場合）	河川の法面緑化における景観向上のための乾燥耐性を有する樹種の選定（三重県科学技術振興センター農業技術センター花植木センター）他
対応の内容等	<p>ゲットウ（<i>Alpinia zerumbet</i>）につきましてはご指摘の様に2002年沖縄県轟川流域の圃場のりに赤土流出防止を目的に試験的に植栽されています。そこで、生育状況及び防止効果については今後の調査を待ちたいと思います。ただし、生育条件として最低気温7℃との報告もありますので、三浦地域であってもやや困難ではないかと思われます。</p> <p>のり面緑化につきましては中山間地や河川のり面对策としていくつかの研究事例があります。三重県ではのり面緑化に使われている植物群からさらに乾燥耐性の強い植物の選定を行い、アベリア、ウノハナ、レンギョウを選定しています。</p> <p>無霜地帯に近い暖地での植物選定につきましてはあまり事例が無いようです。今後とも引き続き研究事例等の検索を行っていきたいと思います。</p> <p>また平塚市内では試験が不可能ですので、地域試験場及び現地での対応をお願いしたいと思います。</p> <p>(1)河川の法面緑化における景観向上のための乾燥耐性を有する樹種の選定 ：三重県科学技術振興センター成績書（1998-2000）</p> <p>(2)のり面に植栽したグラウンドカバープランツの生育特性と土壌浸食防止 ：兵庫県農業技術センター研究報告46,57-61（1998）</p> <p>(3)のり面の早期緑化に適したグラウンドカバープランツの選定 ：近畿中国地方における新技術（中国農業試験場）166-170（1996）</p> <p>(4)畦畔と圃場に生かすグラウンドカバープランツ（農文協）</p>
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
備考	